

マリア・モンテッソーリ

愛と創造のメソッド

テイラー・スウィフト、藤井聡太らが学んだモンテッソーリ教育の生みの親、
マリア・モンテッソーリの劇的な人生の7年間を描いた物語。
予告編&場面写真が解禁！

子どもの権利のために闘う

それが私の運命

Amazon 創業者ジェフ・ベゾス、Google 創業者ラリー・ページとセルゲイ・ブリン、シンガーソングライターのテイラー・スウィフト、将棋の藤井聡太などが受けたことでも注目されるモンテッソーリ教育。本作は、その生みの親であるマリア・モンテッソーリがメソッドを獲得し、1907年に「子どもの家」を開設するまでの試練と歩みの7年間を描いた感動作。

20世紀初頭のイタリア・ローマ。マリア・モンテッソーリ（ジャスミン・トリンカ）はある「成功者」と出会う。フランスの有名なクルチザンヌ（高級娼婦）リリ・ダレンジ（レイラ・ベクティ）だ。リリは娘の学習障がいが出るみに出そうになったとき、自分の名声を守るためにパリから逃亡してきたのだ。マリアはこの時期すでに画期的な新しい教育法の基礎を築いていた。リリはマリアを通して、娘はただの障がいのある女の子ではなく、強い意志と才能を持った人として、ありのままの娘を知るようになる。マリアに共鳴したリリは、男性中心社会の中でもがくマリアの野望の実現に手を貸すのだが……。



心の自律を信じ

新しい時代を切り開いた

ひとりの女性の宿命の物語

この度、解禁となった予告編では、マリア・モンテッソーリを演じるジャスミン・トリンカと高級娼婦・リリを演じたレイラ・ベクティの実力派女優二人による迫真の演技にまず目を奪われる。同時に20世紀の初頭という時代を緻密に再現したセットや衣装、メイクに至るまで、制作陣のこだわり抜いた丁寧な仕事ぶりが見て取れる。次第にその映像美に誘われ、ひとりの女性の宿命の物語へと引き込まれていく。冒頭に「私が大学に入ったとき、女性の医学部生はいなかった」とあるように、マリアはイタリア初の女性医師であった。男性中心のこの時代に女性が医学の道を志すことがどれほど困

難であったかは想像に難しく、稀有なドラマ性を感じさせられる。無情にも我が子をマリアに押し付けるリリに相對して、「新しい教育学は母親の崇高な能力に着目すべきです。最も大事なものは子供を愛することです」と諭すマリア。これほどまでして情熱を注ぐマリアの背景には何があったのか、そしていかにして冷酷に振る舞っていたリリの心を動かしたのか…。リリの娘役・ティナを演じたラファエル・ソヌヴィル=キャビーの愛らしさも際立っていて、壮絶な物語の行方が気になる一方、子供たちの無垢な演技に癒される場面にもそそられる。



あわせて解禁となった場面写真では、難しい役どころを演じた子供たちが中心。監督のレア・トドロフは、子役の選考に長い年月をかけ、幾度となくワークショップを開催し、一人ひとりのキャラ

クターを作り上げていったという。苦勞したキャスティングの成果が伝わり、モンテッソーリ教育のひとコマが垣間見れる5枚のショットには、監督が描きたかったテーマ性が如実に表現

されている。多くの著名人が受けたことで知られるモンテッソーリ教育。その生みの親であるマリア・モンテッソーリの試練と歩みの7年間でドラマティックに描かれる。



『マリア・モンテッソーリ 愛と創造のメソッド』は3月28日(金)よりシネスイッチ銀座、

シネ・リーブル池袋、UPLINK 吉祥寺 他にて全国順次公開！

▽予告編 URL (YouTube リンク)

<https://youtu.be/hLBcUdy3UgE>

監督・脚本：レア・トドロフ 脚本：カトリーヌ・バイエ

出演：ジャスミン・トリンカ、レイラ・ベクティ、ラファエル・ソヌヴィル=キャビー、

ラファエレ・エスポジト、ピエトロ・ラゲーザ、アガト・ボニゼール、セバ스티アン・ブドゥル、ラウラ・ボレリ、ナンシー・ヒューストン

2023年/フランス・イタリア/イタリア語・フランス語/99分/1:1.85/5.1ch/字幕：杉本あり/

原題：Maria Montessori (La nouvelle Femme) /©Geko Films - Tempesta - 2023

配給：オンリー・ハーツ 劇場営業：トリプルアップ

協力：国際モンテッソーリ協会 (AMI)

後援：在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

イタリア大使館/イタリア文化会館

2025年3月28日(金)よりシネスイッチ銀座、

シネ・リーブル池袋、UPLINK 吉祥寺 他 全国順次ロードショー